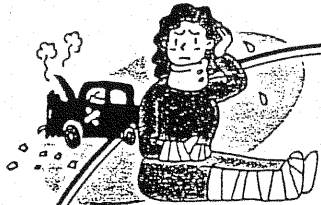


理学療法ってなんだろう

●交通事故

車やオートバイを運転する人しない人、年齢・健康状態に全く関係なく、切断・脊髄損傷・骨折・頭部外傷などに不意に見舞われるのが交通事故です。



●生活習慣病

なかでも脳卒中・心筋梗塞・がんは、その死亡率の高さ、より高度で長期的な医療を必要とすること、そして患者の年齢層の広さにおいても現在最もハイリスクな病気です。



●スポーツ障害

学校スポーツや企業・地域・レジャースポーツなど、人口・年齢層ともに広がる中で、膝・腰・肩にかかわるスポーツ障害が増加しています。



**障害に
あ
遭う!!**

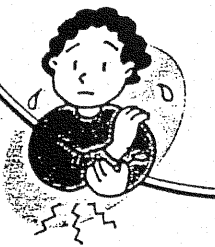
●高齢者

腰や膝の痛み、脳卒中、ちほう、骨粗しょう症、骨折など、高齢者は入院・通院・在宅を問わず様々な医療・介護を必要としています。



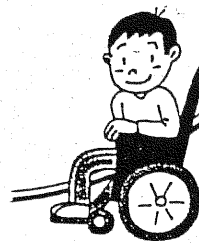
●その他の障害

リウマチ・パーキンソン病など、極めて困難で長期的な医療を必要とする病気も少なくありません。



●小児疾患

脳性麻痺・筋ジストロフィー症等の肢体不自由、精神遅滞など、精神運動発達障害をもつ子供たちは少なくありません。



理学療法とは、病気・ケガ・寝たきりなどによって身体が不自由となった人々に対し、身体と心の両面から機能回復・維持を行う医療の一つです。

実際には各個人の状態を調べて全体像（身体機能・メンタル面・リスクなど）を把握し、適切な治療方法・目標を設定後、治療を進めていきます。そして、この一連の流れは全体像の変化に伴い、何度も繰り返されていきます。

これらは理学療法士によって病院を中心に地域（住宅改造への助言・デイケア・訪問リハなど）や介護する家族への指導、近年では予防医学に対しての助言など幅広い範囲で行われています。

<治療内容の紹介>

運動療法：筋力・関節可動域・バランス能力・痛みの改善（回復）のために行い、日常生活活動（起きる・座る・立つなど）・歩行などの運動スキルを高めます。

物理療法：温熱療法・水治療法・光線療法・電気療法などにより痛みや循環の改善をはかります。

ADL訓練：日常生活を円滑に行うため必要な動作の助言・指導・訓練などを行います。

その他

※当院ではリハビリテーション（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）のうち理学療法を行っています。

★ 「多摩南ミニ通信」をご希望の方は、面会受付までお申し出ください。★

★院内に入られましたら携帯電話の電源をお切りください。★